

## 第 56 回紫友まち歩き

### 王子から赤羽へ崖線の上を歩く まち歩き

当日は雨の予報。降り始めるのは夕方と期待して実施される。後半、強い雨の中のまち歩きになりました。濡れて寒くなってきたので、懇親会が一層楽しみとなりました。

普段は気が付かなかった、王子から赤羽に向けての崖線を見ながら、上り下りを体験できたまち歩きでした。

日時： 2016年2月20日(土)

集合時間：13時50分、14時出発。

集合場所：JR王子駅北口改札口そば

参加者：19名参加

案内人：015 倉林

懇親会：赤羽駅東口 坐和民

懇親会参加者：19名

今回の歩数：13,000歩（懇親会会場の数人で確認）でした。

今回もまち歩き案内人が事前下見での報告書を作成してくれた。その報告をもとにまとめています。**この色でコピーをしています。**

<まち歩き>:

#### ■まち歩き行程

王子駅 → 音無親水公園 → 王子神社 → 王子稻荷神社 → 名主の滝公園 → 地福寺 → 篠原演芸場 → 十条銀座商店街 → 清水坂公園 → 法真寺 → 香取神社 → 静勝寺 → 青猫書房 → 懇親会会場

#### ① 王子駅

北口改札口を出た左手の場所で集合。南北線地下鉄で来る人もいた。小雨の降る中、傘をさして出発。



#### ② 音無親水公園

王子焼きで有名な王子扇屋の前を通り、左手に音無親水公園を見ながら右崖の上方に階段を昇っていく。

#### ③ 王子神社



入口左手に「関神社」と「毛塚」がある。理・美容業界から厚い信仰を集めている。立派な神社だとの声があった。



この地域の熊野信仰の拠点となった神社で、「王子」の地名は熊野権現から王子大神を勧請したことによる。境内に「毛塚」という塚があり髪の子神が祭られている。

#### ④ 王子稻荷神社

坂を下り左手の方に歩くと王子稻荷神社の階段が見えた。階段を昇り拝殿天井の絵を鑑賞。





さらに右手奥の「願掛けの石」、崖上の「狐の穴跡」を見学。



関東の稲荷神社の総元締めというお宮で、毎年、大晦日の夜に、関東一円の稲荷神社から狐たちが集まって、参詣したという伝承が残っている。地元では地域イベントづくりとして狐の行列やかがり火年越しを開催している。この榎木に大晦日の夜に狐たちが集まって来るのか。



関東稲荷総社の格式を持ち、江戸時代から庶民に親しまれている。

## ⑤ 名主の滝公園

崖からの滝を期待したが、本日男滝はお休みで、滝からは水が落ちてきていない。残念。



公園内の池では昔、子供たちは牛乳瓶にパンくずなどを入れ、ザリガニを捕まえていた。また、崖の上には冷たいプールがあったことを思い出す。

この地方の名主秦野孫八が自分の屋敷の庭に王子七滝の一つ、男滝（落差8m）を作り、茶の栽培を始め、のちに一般にも開放された。明治中期に貿易商垣内徳三郎によって整備され一般に供された。

## ⑥ 地福寺



100段以上の階段を使い崖上へのぼり、右方向に狭い車道（昔の岩槻街道）を、傘を差しながらしばらく歩く。



地福寺入口手前の左手に六体の地蔵がある。



庭の奥には、近代皇室によるハンセン病救援事業の草分けとなった貞明皇后の彫像もあり、入口には「救らいの寺」の碑もある。

以前はお茶の栽培をしていたようで、「茶垣の参道」が有名であったようだが、今はその名残もない。門前には「鎌倉街道の地蔵様」と呼ばれる地蔵尊を含めて六体の地蔵様が並んでいる。境内には先の大戦で焼け残った、奇跡の椎木もある。



### ⑦ 篠原演芸場

富士神社はスキップし、篠原演芸場に向かう。商店街の中にあり、演芸場の飾りが派手だ。



23区内に2か所しか残っていない大衆演劇場のひ

とつ。公演日にはファンが長い列を作るという。もう一つは浅草にある「浅草木馬館大衆劇場」。

### ⑧ 十条銀座商店街

十条駅を左に見て、昔の名前が残っている赤羽線の仲道踏切を渡り、十条銀座商店街を赤羽に向かっていく。



アーケード内は、傘を差さなくても済むのでありがたい。買い食いも楽しむ。



加盟店舗数200店を超える北区最大の商店街です。アーケードが設備され、低価格も魅力で普段から賑わっています。

### ⑨ 清水坂公園

冷え込みも強くなってきているようだ。階段を下りて行ったが、また別の階段を昇る。



南北に走る武蔵野台地と下町低地との崖線を利用した、立体的な変化を取り入れた公園になっています。長さ50メートルを超えるローラースロープに子供たちが大はしゃぎです。

## ⑩ 法真寺

さらにいくつかの階段を楽しみながら、法真寺に向かう。



手入れの行き届いた庭が素晴らしいそうだが、雨で残念。



## ⑪ 香取神社

法真寺の隣が香取神社。ここは崖の上、高台にあり、見晴らしが良い。



太田道灌の築いた稲付城にちなんで、この辺りは稲付村とされていた。その稲付村の鎮守社が香取神社。奥殿には上野東照宮の内陣が、家光公の命により移築されている。

## ⑫ 静勝寺

赤羽駅に向かって坂道を下り、しばらく歩く。稲付城跡の碑がある左手の階段を昇ったところが静勝寺。崖上の寺だ。



御堂には木像太田道灌座像があるというが、のぞいても見えない。



記念の集合写真を撮る。



道灌の築いた稲付城を、その死後、寺にしたのが静勝寺。寺域は砦の雰囲気窺わせる。境内には木造の太田道灌像が安置されている。

### ⑬ 青猫書房

赤羽駅東口の前を通り、赤羽スズラン通り商店街を通っていく。途中で左折して目的の青猫書房に着く。木造4階建ての白い建物。



1階では仲間が子どもの本「青猫書房」を開いている。ウェブで見ると「ここでは何でもありの、異界への入り口。河童も狐も青猫も、はたまた魔女やら妖精、鬼までも、何が住んでも不思議のない書店。」とある。しばしまち歩きの間でお店はいっぱいとなる。数人が絵本を買ったようだ。



むらさき草通信が置かれていた。



次は懇親会場へ移動。

### ⑭ 懇親会

会場は、赤羽東口の坐和民。いつものように楽しくお酒と会話を楽しみました。



雨も心配なので、早めに解散。  
お疲れ様でした。